



ホームページから市民健診などのご予約が出来るようになりました!
電話予約は大変混み合いますのでインターネット予約をお勧めいたします。

V-POINTが貯まります

ご予約方法

茅ヶ崎徳洲会病院ホームページ「健診のご案内」ページにある下記バナーをクリックし、画面の指示にしたがって入力してください。スマートフォンの方は右上のQRコードからトップページにアクセス可能です。



今まで通りお電話でのご予約、お問合せも受け付けております。

健康診断・人間ドック担当(直通)

電話:0467-89-2555 F A X:0467-89-2556
お問合せ時間:月~土 13:00~16:30(日・祝日を除く)



脳梗塞やくも膜下出血などの脳血管疾患は、突然発症してそのまま命を落とすケースも少なくありません。また、発症後に一命をとりとめたとしても、体に麻痺や言語障害などの後遺症を残すケースも多く、一度の発症で人生を大きく左右する恐れのある疾患です。自覚症状などの前触れなく発症することが多いため、病気を未然に防ぐためには、高血圧や肥満、喫煙者、過度の飲酒、40歳以上、脳卒中の家族歴のある方など、脳卒中リスクの高い方は一度検査を受けることをおすすめします。
※医師の診察・面談の無い検査のみのコースです。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体調がすぐれない方は健康診断・人間ドック担当までご連絡いただき、日程の変更・キャンセルをご相談ください。健康診断が安全に実施されるよう、ご協力お願いいたします。

ワンコイン健診 ■1コース 500円(複数コース選択可能) ■実施時間 14:00~16:00(平日)

予約受付時間 13:00~16:30(日・祝日を除く)

- 健康診断の結果で「再検査」の項目があった方
- 生活習慣を改善してその効果を確認したい方
- 外来受診・健康診断をする時間がなかなかとれない方
- 気軽に健康に関する数値を確かめたい方

コースを選択して気になる項目の血液検査を行うことができます。通常の健康診断とは違い、医師による結果説明や相談は行いませんが、次の項目からお気軽に検査をすることができます。検査結果は、採血後60分ほどお待ちいただいて当日お渡します。

茅ヶ崎徳洲会病院 健康診断・人間ドック担当

ご予約・お問合せは ☎0467-89-2555

ご予約をおすすめします。予約時はコース名をお伝えください。

コース	検査項目
①貧血コース	■貧血の有無がわかります 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、白血球、血小板
②脂質コース	■血液中の脂質異常を調べます ※空腹時の検査をおすすめします 中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、総コレステロール
③血糖コース	■糖尿病の指標になる検査です ※空腹時の検査をおすすめします 空腹時血糖、HbA1c
④肝機能コース	■肝障害の有無を調べます AST、ALT、γ-GTP
⑤腎機能コース	■腎機能を調べます クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、クロール
⑥痛風コース	■痛風のときに上昇する血液中の尿酸値を調べます 尿酸、尿素窒素、クレアチニン
⑦尿コース	■基本的な尿検査です 尿タンパク、尿糖、尿潜血
⑧体脂肪コース	■肥満度を調べます 体脂肪率、身長、体重、BMI、血圧

編集後記



今号では当院の新しい取り組みについてご紹介しました。来る7月1日には、いよいよ歯科口腔外科がオープンいたします。地域の皆様の口腔内の健康をサポートできるよう、専門性の高い治療を提供してまいります。さらに、8月からは包括ケア病棟も開設予定です。急性期治療を終えられた患者様が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、医療と介護が連携したサポート体制を強化してまいります。そして、皆様にお知らせです! 恒例の病院祭が、今年10月26日(日)に開催されます。第6回目となる今回は、さらに皆様楽しんでいただけるような企画を準備中です。詳細が決まりましたら、改めてご案内させていただきますので、ぜひご家族皆様でお越しください。 企画広報 餅田

えぼしめ〜る vol.33



2025年7月1日(火)より

歯科口腔外科を開設いたします。

歯科口腔外科は、口腔(口の中)、顎(あご)、顔面、およびそれらに隣接する組織に現れる先天性および後天性の病気を診断・治療する診療科です。歯が原因となるものから口腔粘膜、歯肉、舌、唾液腺などの疾患、交通事故やスポーツなどによる外傷、口腔乾燥症、神経性疾患などの内科的疾患も含まれます。

主な診療内容

- 親知らずの抜歯: 複雑な生え方をしている、または顎の骨の中に埋まっている親知らずの抜歯
- 全身疾患のある方の抜歯: 血液をサラサラにする薬や骨粗鬆症治療薬など、内服薬を服用している方の抜歯
- 薬剤関連顎骨壊死: 骨粗鬆症やがんなど全身疾患にともなう顎骨壊死
- 口や顎の炎症
- 顎関節症: 顎の関節の痛みや音、口が開けにくい、顎が外れるなどの症状
- 口腔がん: 口の中の悪性腫瘍の診断と治療
- 口の中のケガ: 歯が折れたり、抜けてしまったり、口の粘膜が切れたり、歯茎の骨や顎の骨が折れるなどの外傷
- 口内炎: 口内炎などの口腔粘膜の病気
- 口腔乾燥症(ドライマウス): 口が渇く症状



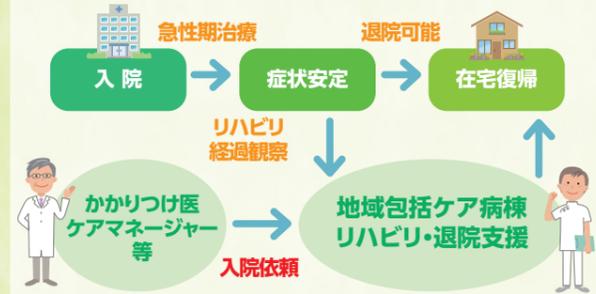
※虫歯・入れ歯・歯周病の治療は行っておりませんので、近隣の歯科医院をご受診ください。
※症例によっては、近隣の高次医療機関へご紹介させていただきます。

中面も併せてご参照ください。

地域包括ケア病棟のご案内

2025年8月より、茅ヶ崎徳洲会病院では、地域包括ケア病棟(8月より16床、2026年3月31日までに40床)を開始いたします。地域包括ケア病棟とは、急性期の治療が落ち着いた方ですぐに自宅や施設に退院して療養することに不安がある方や、在宅生活に戻るために引き続きリハビリが必要な方が入院するための病棟です。地域包括ケア病棟では、在宅復帰をスムーズに行うため医師・看護師・リハビリ職員・社会福祉士などが協力して在宅退院に向けた集中的な支援を行います。地域包括ケア病棟の入院期間は、病状にもよりますがおおむね40日以内が退院の目安となります。保険診療上の上限日数があり、上限日数を超えて同じ病棟で入院を継続することはできません。

地域包括ケア病棟のイメージ



主に入院対象となる患者様

- 急性期治療により症状が安定したが、在宅や福祉施設に戻るためにリハビリの継続や経過観察が必要な方
- 急性期治療により症状が安定したが、施設入居手続き中や制度利用、介護認定手続き等で退院準備に時間が必要な方
- 在宅療養中で、医療の必要性が高く介護施設でのレスパイトケアを利用できない方
- 自宅や福祉施設入居中の方で入院治療が必要な方のうち、比較的軽症と医師が判断した方

※なお、地域包括ケア病棟への入院を希望される場合でも、患者様の治療内容によっては一般病棟にてお受け入れする場合があります。

入院の流れ

かかりつけの先生に診療情報提供書を用意していただき、社会福祉士担当者までご連絡のうえ送付してください。診療情報提供書で状態を確認させていただき、入院日時を調整の後、担当者よりご連絡させていただきます。地域包括ケア病棟の入退院についてご不明な点がございましたら、地域医療支援室 社会福祉士までお問い合わせください。

入院相談
TEL.0467-58-1311

診療情報提供書を当院に送付
FAX.0467-58-1461

入院日時の調整





自分の家族だと思って接する

少しでも安心していただけるように

歯科口腔外科 部長
梯 裕 恵
Kakehashi Hiroe

認定医・専門医

- ・歯学博士
- ・公益社団法人日本口腔外科学会 口腔外科専門医
- ・厚生労働省認定歯科医師 臨床研修指導歯科医

歯科口腔外科

自己紹介

幼い頃から医療の世界に憧れを抱き、人の役に立つ仕事に就きたいと考えていました。父は医療従事者ではありませんでしたが、医療の道を勧めてくれた影響もあり、自然とこの分野に進むようになりました。

出身は福岡県で、実家から通える九州大学の歯学部に進学。学生時代は歯科全般について幅広く学ぶ中で、特に高度な治療を求められる口腔外科に強く惹かれました。なかでも、顎や口腔内の疾患に対して外科的にアプローチする点に大きな魅力を感じ、この分野を専門にしたいという気持ちが次第に固まっていきました。

卒業後は口腔外科の研修医を経て大学院に進み、免疫に関する研究に従事。データ分析や論文執筆に取り組む中で、論理的に物事を考える姿勢や、根拠をもって説明する力が養われたと感じています。

その後、大学病院に勤務をし、20年以上にわたり臨床・教育・研究の各分野に携わってきました。診療の現場では、さまざまな症例に向き合いながら技術と経験を積み重ね、学生への指導にも力を注いできたところです。

そうした年月の中で、「もっと目の前の患者さん一人ひとりにじっくり向き合いたい」という思いが次第に強まり、この度、大学病院を離れて地域医療の現場に軸足を移す決断に至りました。

今後は、これまでに培ってきた知識と経験を活かし、地域の皆さまに安心と信頼を届けられるような診療を目指してまいります。一人ひとりの声に耳を傾け、丁寧に対応することを大切にしていきたいと考えています。

また、趣味はワインで、これまでにワインエキスパートやシェリーアンバサダー、チリワインなどの資格を取得しています。品種や土壌、気候による違いを知ること、味の背景が見えてくる点に魅力を感じています。医療と同様、背景を読み解く視点や丁寧な観察を大切にしながら、今も学びを続けています。

これからは几帳面で理論的な性格を活かし、根拠に基づいた丁寧な診療を心がけてまいりたいと思っています。

歯科口腔外科ではどのような症状、疾患を診療していますか？

歯科口腔外科では、虫歯や歯周病といった一般歯科では対応が難しい、より複雑かつ専門的な口腔・顎・顔面領域の疾患を取り扱います。

主な診療内容には、複雑な生え方をしている親知らずの抜歯や顎関節症、顎の骨折・脱臼、口腔がん、スポーツや事故による外傷などがあります。また、舌・肉肉・頬の内側といった軟組織に生じる疾患も多く見られます。これらの疾患では、痛みや腫れ、しこり、潰瘍など、さまざまな症状が現れるのが特徴とされています。

そうした中でも私が特に専門としているのが、「薬剤関連顎骨壊死」です。これは、骨粗しょう症やがんの骨転移などに対する薬剤を投与されている方が、歯周病を放置したり、治療が必要な歯や抜歯すべき歯をそのままにしていたりすることで、



顎の骨に炎症が広がり、顎骨骨髓炎よりも重い症状を引き起こす難治性の疾患です。進行すると顎の骨が露出したり、膿が出続けたり、強い痛みを伴うこともあり、患者さんの日常生活にも大きな影響を及ぼします。

こうした重症化を防ぎ、できるだけ負担を抑えた治療を行うために、私は「保存的外科治療」というアプローチを重視しています。これは、広範囲の骨を切除するような大がかりな手術を避け、必要最小限の処置と感染のコントロールによって、治癒を目指す方法です。実際に多くの症例で良好な経過が得られており、患者さんの身体的・精神的な負担の軽減にもつながっています。

治療には長期的な管理が必要となるため、患者さんには不安なく治療に臨んでいただけるよう、症状や経過に応じたケアを丁寧に行うことを心がけています。状態に合わせたきめ細やかな対応が、安心と安定した治療につながると考えています。

高齢化が進む中、誤嚥性肺炎などの予防を目的とした口腔ケアや、口腔外科への受診の重要性について

高齢の患者さんにおいては、全身麻酔を用いた手術の際に、口腔内の状態が思わぬリスクになることがあります。たとえば、歯がぐらついていると、全身麻酔時に管を挿入する際、歯が脱落してしまい、気道閉塞や誤嚥の原因となる可能性があります。こうした事故を防ぐためにも、術前の口腔内チェックは非常に重要です。

手術前の段階で歯科による診察を行い、リスクのある歯が見つかった場合には、あらかじめ治療や抜歯しておく必要があります。患者さん自身に自覚症状がない場合でも、歯科的な問題が全身の医療行為に影響を与えることがあるため、歯科の果たす役割は非常に大きいと感じています。



広報誌をご覧になる患者様へのメッセージをお願いします

このたび、こちらの病院で歯科口腔外科の診療を担当させていただくことになりました。

これまでの経験を活かし、患者さんが安心して受診できるような診療体制を整え、地域の医療に貢献していきたいと考えています。

診療にあたっては、正確な診断と丁寧な説明を心がけ、一人ひとりに合った治療を提供できるよう努めてまいります。

また、「これは歯科なのか医科なのか分からない」といったような、判断が難しいような症状でも構いません。お口や歯に関して気になることがあれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。どこに相談すべきか迷われたときに、まず頼っていただける窓口になれるよう、わかりやすく、丁寧な対応を心がけてまいります。

また当院では今後、周術期口腔機能管理にも力を入れていく方針です。これは、手術の前後に専門的な口腔ケアを行い、口腔内の衛生状態を良好に保つことで、術後の合併症を防ぐ取り組みです。特に高齢の方や全身麻酔を伴う手術においては、こうした管理によって口腔内の細菌数を減らし、術後に細菌が肺へ入り込むことで起こる誤嚥性肺炎の予防にもつながると考えられています。

術前の口腔管理によって全身麻酔下での安全性が高まり、他科の先生による手術がよりスムーズに進むよう支えることも、私たち口腔外科医の重要な役割のひとつだと考えています。



患者さんと接する中で、どのようなことお感じですか。

患者さんと接する際には、常に「自分の家族だと思って接する」ことを大切にしています。特に初診時は、紹介状を手に不安や緊張を抱えて来院される方が多く、その気持ちに寄り添うことが何より重要だと感じています。そのため、明るい態度を心がけ、診療室の雰囲気づくりに工夫を凝らし、少しでも安心していただけるよう努めています。

病状や治療内容の説明にあたっては、できるだけ専門用語をかみ砕き、紙に書いたり図や模型を用いたりしながら、患者さんの理解度に合わせて丁寧にお伝えしています。内容をしっかりとご理解・ご納得いただいたうえで治療に進むことが、患者さんの不安を和らげるうえでも非常に大切だと考えています。

今後わかりやすく誠実な説明を通して、患者さんとの信頼関係を築きながら、安心して治療に臨んでいただけるよう心を尽くしてまいります。

どのような時に歯科口腔外科を受診すべきか

- 親知らずの痛みや腫れがある
- 口の中に痛みや腫れ、出血がある、口内炎が治らない
- 顎の関節が痛む、音がある、口が開けにくい
- 口の中に白いまたは赤い斑点、しこりがある
- 顔面や顎をケガした・口の中が乾燥する



※虫歯・入れ歯・歯周病の治療は行っておりませんので、近隣の**歯科医院**をご受診ください。
※症例によっては、近隣の**高次医療機関**へご紹介させていただきます。